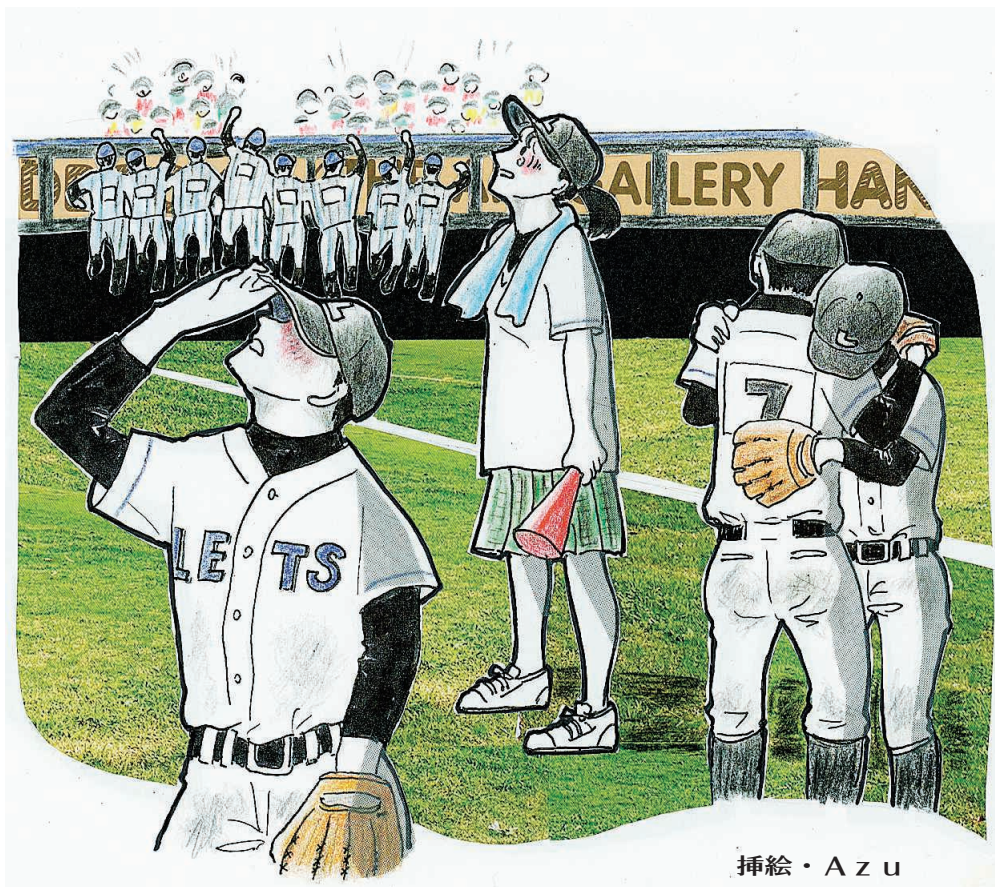


第5回

さんいんユーモア連歌大賞



挿絵・Az u

入選作品発表

山陰中央新報社の第5回「さんいんユーモア連歌大賞」(後援・島根大「やみつくば会」)の受賞作が決まった。大賞は、課題1が出雲市市町の行長好友さん、課題2は江津市波積町の花田美昭さんの作品がそれぞれ選ばれた。日本古来の歌のかたち「連歌」を多くの人に親んでもらうため、全国から作品を募集。課題1「週末に届く小さな段ボール」に七七の付く、課題2「勝っても負けても泣く」とともに、入賞作品を紹介する。



挿絵・麦倉うさぎ

課題1 週末に届く小さな段ボール

大賞

待ちに待ってたリュウグウの砂

(出雲) 行長 好友

優秀賞

向かいの窓から覗かれている(隠岐の島) 大田 有子
お試し品で化ける母さん(松江) 宮本朝陽香
じいちゃんの絵に押しピンの跡(益田) 石田 三章
認め印なら下駄箱の中(安来) 角森 玲子
リモート授業の宿題だってサ(出雲) 三島 真子
夏乗り切れと母の梅干し(松江) 佐々木滋子
増えるばかりの断捨離の本(出雲) 野村たまえ
落札したぞこの初版本(広島) 長野 博央
野菜作りが母の生きがい(江津) 江藤 清
空気穴から漏れる鳴き声(出雲) 南 小づち

選評

下房 桃菴

前句から離れる努力を

第5回を迎えた今回は、課題1に428句、課題2に391句が寄せられました。課題1の大賞「リュウグウの砂」は、最新の話題を取り上げて成功。宇宙の成り立ちや生命の起源にも迫る謎が、「小さな段ボール」一つに閉じ込められているという見立てもみごとです。課題2の大賞「週末に届く小さな段ボール」は、最新の話題を取り上げて成功。宇宙の成り立ちや生命の起源にも迫る謎が、「小さな段ボール」一つに閉じ込められているという見立てもみごとです。課題2の大賞「週末に届く小さな段ボール」は、最新の話題を取り上げて成功。宇宙の成り立ちや生命の起源にも迫る謎が、「小さな段ボール」一つに閉じ込められているという見立てもみごとです。

優秀賞

丹精を込めて芝生も整えて(浜田) 酒井 由美
客席にいつもはいない父がいて(大阪) 山本 愛紗
遠慮なく声張り上げる台所(美郷) 源 瞳子
一族を引き連れてきたネット裏(江津) 岡本美津子
校長は金の工面で四苦八苦(松江) 今井 ヒロ
若いっていいなとポツリおじいさん(米子) 板垣スエ子
未熟児で生まれてきよならホームラン(松江) 澄川 克治
今晚の一押し思案してる母(松江) 瀬戸 武司
床の間を飾る小さな砂の山(江津) 杏 子
ボクたちの終着駅は始発駅(松江) 岩田 正之

(一部添削した句があります。ご了承ください)